

平成 25 年 4 月 4 日
九州電力株式会社

インドネシア・サルーラ地熱 I P P プロジェクトの売電契約の締結について

当社は、伊藤忠商事株式会社、インドネシアの PT Medco Power Indonesia、米国の Ormat Technologies, Inc. とともに、それぞれの投資子会社および共同で出資する事業会社 Sarulla Operations Ltd. を通じて、インドネシア国有電力会社（以下「PLN」）およびインドネシア国有石油会社の子会社であるプルタミナ地熱との間で本日、売電契約を締結いたしました。

本プロジェクトは、インドネシア スマトラ島の北スマトラ州サルーラ地区にプルタミナ地熱が保有する地熱鉱区で、出力約 33 万 kW の地熱発電所を建設し、PLN へ 30 年間にわたり売電するものです。

インドネシアは世界最大の地熱資源保有国であり、同政府は第 2 次 1,000 万 kW 電源増強プログラムを立ち上げ、そのうち 4 割相当（400 万 kW 規模）は地熱発電で賄うという方針を打ち出しています。

本件は、同プログラムの一環として開発し、単一開発契約としては世界最大規模の地熱 I P P（独立系発電事業者）事業です。資金調達については、株式会社国際協力銀行、アジア開発銀行等を中心としたプロジェクトファイナンス の組成を検討しています。

当社としては、国内の地熱開発を通じて培った地熱発電技術を活かして、恒常的に電力が不足しているインドネシア同地区への電力供給に貢献するとともに、海外事業を通じて、当社の安定的な収益の確保やグループ企業全体の技術力、企業価値の向上を図ることにより経営基盤の強化を目指してまいります。

以 上

プロジェクトの将来キャッシュ・フローを主な返済原資とする資金調達方式。